

小俣図書館 図書館行事 ご案内!

おはなし会 1階・おはなしのへや
7月14日(土) たんぽぽおはなし会、午後3時~
7月15日(日) ピッポの会・紙芝居、午前11時~

★図書館おはなし会&工作
夏休みスペシャル <2階・会議室>
(日時) 7月28日(土) 午後2時~
(対象) 3歳~小学生(就学前の子どもは保護者同伴)

★「赤ちゃんおはなし会」 1階・おはなしのへや

7月12日(木) 午前11時~

◆上映会 2階・視聴覚室

7月21日(土) 午後2時~

「ヒシをもらったイルカ」《42分》

※おはなし会、上映会の事前申込みは不要です。

読書感想画を募集 ~みんなの絵で本の世界を広げよう~

好きな本を読んだ感想を絵に描いてみませんか。応募された読書感想画は、後日展示します。

※8つ切り画用紙を使用してください(伊勢図書館・小俣図書館でも配布します)

物語の世界へようこそ
~ストーリーテリングおはなし会~

日時 7月30日(月) 午後2時~4時
場所 2階・会議室
対象 小学生以上
内容 お話を聞いたあと、希望者のお話の絵を描きます。描いた絵は後日小俣図書館・伊勢図書館で展示します。(ストーリーテリングは30分程度)

開館時間 午前9時~午後7時

休館日 毎週火曜日、第2金曜日

年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー

7月 8月

Calendar grid for July and August 2012.

「平山郁夫」原画タペストリー展

(日時) 7月4日(水)~16日(月) <2階・ギャラリー>
午前9時~午後7時(最終日は午後3時まで)
(内容) 日本画家・平山郁夫さんの指導・監修を受けて制作されたタペストリー(壁掛けなどに使われる織物の一種)を展示します。

「夏休み調べもの大作戦!!」

★「いちごちゃんと大合宿!」 <2階・会議室>

とき: 7月16日(月・祝) 午前10時30分~午後3時

対象: 小学生
内容: 図書館の活用方法や本の分類、言葉の調べ方について学びます。
持ち物: 昼食、水筒、筆記用具
定員: 10人先着順

★「ベリーくんと大追跡!」

とき: ①7月23日(月) 午前10時~12時
②8月1日(水) 午前10時~12時
③8月1日(水) 午後2時~4時

対象: 小学生(3年生以上で調べ学習講座参加経験者)
内容: ①図書館からのチャレンジテーマの中から、自分の調べたいことを見つけ、本を使って調べる方法を学びます。
②③まとめ方を学びながら、調べ物シートを仕上げます。

定員: 10人先着順(①②もしくは①③、参加可能な人)

申込みはいずれも6月23日(土)午前9時から小俣図書館カウンターへ(電話可)

「おはなし会」
(日時) 毎週土曜日 午後2時30分~

(場所) 1階・おはなしコーナー
7月7日/おにいさん、おねえさんによるおはなし会
7月14日・21日・28日
/oはなしプーさんによるおはなし会

「あかちゃんえほんのじかん」

7月26日(木) 午前11時~

(場所) 2階・視聴覚室
(内容) あかちゃんむけの絵本の紹介や、手あそびなどをします♪

「上映会」

(日時) 7月8日(日) 午後1時30分~

(場所) 2階・視聴覚室
『ドルフィンブルー フジ、もういちど宙へ』

(上映時間105分)

「夏休み子ども映画会」

(日時) 7月29日(日) 午後1時30分

(場所) 2階・視聴覚室
『ハリー・ポッターと秘密の部屋』
(日本語吹き替え) <上映時間 161分>

「リサーチせよ!」調べものマスターへの道

(日時) 7月26日(木)~28日(土)
午前9時30分~12時

(場所) 2階・小会議室
(内容) 「自由研究」にも役立つ、調べるコツを教えます!
(対象) 小学生
(定員) 1日につき5名

都合の良い日を決めて申し込んでください。(参加は1日でも全日でも構いません。)

(申込) 7月7日(土)から、直接・電話・FAXで伊勢図書館へ。

「図書館工作 ~ビックリ!!へんしん絵本作り~」

(日時) 7月22日(日) 午後2時~

(場所) 2階・視聴覚室
(内容) 画用紙1枚を使った楽しい絵本作り。
(対象) 小学生
(定員) 10名
(申込) 7月7日(土)から、直接、電話、FAXで伊勢図書館へ。

「図書館だ・だ・だ・だいぼうけん!」

(日時) 8月5日(日) 午前9時30分~12時

(場所) 2階・視聴覚室
(内容) 集まれ、冒険者たち! ナゾの地図を手に入れて、図書館島へ出発だ!
(対象) 小学生
(定員) 15名
(申込) 7月14日(土)から、直接カウンター・電話・FAXで伊勢図書館へ。

開館時間 午前9時~午後7時

休館日 毎週水曜・第2金曜・年末年始・特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内(うち雑誌は5冊まで)

1団体50冊1ヶ月以内(うち雑誌は25冊まで)

\*\* 伊勢図書館・休館日カレンダー \*\*

Calendar grid for July and August 2012.

「読書感想画を募集」

(内容) 好きな本を読んだ感想を絵に描いてみませんか。応募された読書感想画は、後日展示します。

(募集期間) 7月1日(日)~8月31日(金)

\* 8つ切り画用紙に描いて、伊勢図書館か小俣図書館カウンターまでお持ち下さい。(画用紙は図書館カウンターでも配布します。)





# 本のごあんない

〔一般書〕

## 「Once upon an Olympic time」



オリンピックはスポーツの最高峰。

4年に一度開催されるのはギリシャの古代オリンピックに倣ったから。

古代オリンピックは4年ごとの夏至のあとの満月を中心として開催され、その大会から次の大会までの4年間を「オリンピックアド」と呼び公式の暦と定めた。

～オリンピックは単なる世界選手権大会ではない。それは平和と青春の花園である。～  
ピエール・ド・クーベルタン

近代オリンピックの創始者クーベルタンが提唱したオリンピックのあるべき姿～オリンピズム～は国境や世代を越え受け継がれている。

1964年、第18回東京オリンピック開会式、「世界中の秋晴れを集めたような、今日の青空です」テレビ放送のアナウンスを鮮明に覚えている。青空とそよ風が演出した光景が最高の舞台装置だった。

## The Games of the xxx Olympiad in London

史上初となる3度目のロンドン五輪は第30回の記念すべき大会。世界中の人々にどの様な感動を与えるのか・・・。

◎TOKYO オリンピック物語 (野地秩嘉／著 小学館)

〔児童書〕

## あつふと おぼけで暑さを吹き飛ばせ！

さあ、いよいよ夏本番！夏といえば・・・やっぱりコシですよ？楽しいおぼけの話や、背中がムクッとするこわい話など、夏にピッタリのおはなしをご用意しました。

★おぼけがぞろぞろ (ささきまき／作 福音館書店)

★おぼけおぼけおぼけおぼけおぼけおぼけおぼけ (岩田明子／ぶん・え 大日本図書)

★めっくらもっくらとおんどん

(長谷川摂子／作 ふいやなな／画 福音館書店)

★おぼけさんとのやくそく

(上田真而子／作 梶山俊夫／絵 福音館書店)

★怪異百物語 シリーズ

(不思議な世界を考える会／編 前嶋昭人／絵 ザ4時44分ズ／絵 ポプラ社)



## 〔ヤングアダルト〕 「なでしこジャパン」

なでしこジャパンの愛称には、大和撫子が世界に羽ばたき、世界に通用するようになるという願いが込められています。撫子の花言葉は「純愛」、「大胆」、「勇敢」、「才能」etc.です。今頃から開花する撫子の花のように“大胆”に“果敢”に攻めて、ロンドンで活躍して欲しいですね。

〔一般書〕

●ほまれ (沢穂希／著 河出書房新社)

●荒れ地に花は咲く (池田浩美／著 アートヴィレッジ)

●世界のあきらめない心 (江橋よしのり／著 小学館)

〔児童書〕

なでしこジャパンはJFAにより編成される女子サッカーの日本代表チームの愛称です。

●なでしこ キャプテン！ (沢穂希／著 集英社)

★伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。ご利用館にない場合は、予約ができます。

朝靄に霞む神宮の森

鈴音のような五十鈴川の瀬音

やがて神路山が茜色に染まり 太陽が夏の朝を告げる

ふるさとの風  
～文月～

## 天地和合

— 露涼し 夏の五十鈴川 —

悠久の時を超えて流れ続ける五十鈴川。

およそ二千年前、倭姫命が巡幸の際、五十鈴川のほとりに天照大神の真なる鎮座地を定められたと伝えられる。

時に天照大神、倭姫命に語りて曰はく、「是の神風の伊勢国は、則ち常世の浪の重浪帰する国なり。傍国の可憐国なり。是の国に居らむと欲ふ」とのたまふ。故、大神の教の随に、其の祠を伊勢国に立て、因りて斎宮を五十鈴川の上に興てたまふ。是を磯宮と謂ふ。則ち天照大神の始めて天より降ります処なり。

—日本書紀 卷第六—

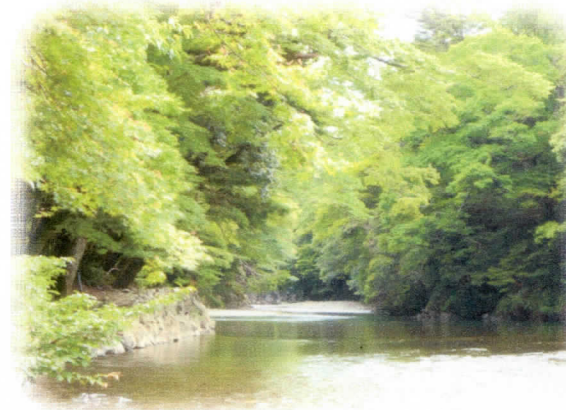
五十鈴川の名は神前へ供える御贄を「すすぐ」意から出たという。また、倭姫命が御裳の裾を濯がれたとの故事から御裳裾川ともよばれる。

千時河際仁志天。倭姫命御裳斎長。計加礼侍介留於洗給倍利。従其以降。際号御裳須曾河也。

時に河の際にして、倭姫命、御裳の斎長くして、計加礼侍りけるを洗ひ給へり。それより以降、際を御裳須曾河と号くるなり。

—倭姫命世紀—

神域の山々の絶景、五十鈴川の清流の水音に包まれて宇治橋を渡る。宇治橋は俗界から聖界への架け橋。真新しい檜の香りが清々しい。神苑の中、白く光る玉砂利を踏みしめて参道を進む。緑豊かな神苑は明治時代に作られた和洋折衷の珍しい形式。大正天皇が皇太子の時にお手植えされた記念樹の松が姿を見せる。火除橋を渡り内宮の神域に入る。一の鳥居をくぐり右手に降りると五十鈴川の御手洗場である。



澄んだ流れに錦鯉が悠々と泳ぎ木々を映した川面は、まるで美しい絵織物のよう。夏でも冷たい水で手を清めると心まで洗われる。敷きつめられた石畳は徳川五代将軍綱吉の母 桂昌院が寄進したものと伝えられる。御手洗場の真近に鎮まる瀧祭の神は、御神体の石が石畳の上に祀られているだけの簡素な社であるが、五十鈴川の守り神として重要とされる。河合淵(川の合流する地点)にあるため幾度となく社殿が流され、古来よりの治水への祈りの証が偲ばれる。夏の土用や八朔には五十鈴川の水を汲み瀧祭神に参り神棚に供えると無病息災。夏の風物詩となっている。

五十鈴川は神路山と島路山に水源を發したふた筋の流れがやがてひとつになり、神域を流れ伊勢湾に向かう。豊富な水は流れて清く古来より人々の生活を見守ってきた。水とともに生き水に育まれてきた日本人々。水は太古の昔から天と地をつないできた。

神域に流れる清らかな川の流れは天にも届く川一。

千古の森の中、月の光に照らされ五十鈴川のせせらぎと木々の匂いに包まれる。

七夕の夜、天を仰ぎ見れば満点の星・・・

天の川の織姫と彦星の逢瀬に巡り合うかもしれない。

➤伊勢の文学と歴史の散歩 金剛證寺の歩み (中川埜梵／著 古川書店 L902／十)

➤倭姫命世紀 注釈 (和田嘉寿男／著 和泉書院 L174／ワ)